総合評価報告書（総合評価） サンプル

総合評価　　**会社名：** サンプル株式会社　　**業種：** 製造

総　括

【全体評価】
全ての部門において、評価が「良好」または「極めて良好」な水準を維持しており、優良な企業です。
【個別部門評価】
（ヒト部門）
　全ての戦略項目が最高レベルとなっており、申し分のない水準です
（モノ・技術部門）
　7部門のうち、4部門が最高レベルで、残り3部門においても「良好な水準」を維持し、問題はありません。
（カネ部門・定量分析）
　全般をみると良好な水準を維持しています。ただ、効率性に関する戦略項目について「やや低い水準」となっています。
　※効率性を構成する評価指標について詳細を別紙に記載しましたのでご覧ください。
（カネ部門・定性分析）
　健全度・体力度ともに高いレベルとなっています。

現状について

当システムの分析の結果、現状において当社は、「ヒト」、「モノ」、「カネ」各部門でかなり高いレベルで経営が行われていると思われます
当社の業績は、ここ数年増加基調にあり、「ヒト」、「モノ」、「カネ」それぞれ相乗効果が発揮されています。
こうしたなか、若干ですが部分的に改善が必要な個所が見られます。詳細については別紙をご覧ください。

提案について

今回の診断結果において、特筆すべき改善個所は見つかりませんでしたが、この結果は将来の状況を約束するものではありません。
企業を将来的に安定、発展させていくためには、ウィークポイントを的確に捉え、改善を進めていくことが重要です。
今後、定期的に自社の経営状況をチェックすると共に、その結果をデータベース等に蓄積していくことをご提案します。
データベースを蓄積することで会社の経営状況を時系列に把握することが可能となり、ウィークポイントの改善状況や比較検証を行うこ
経営革新に役立てることが可能となります。

部門別評価結果

「ヒト部門」　　**全業種共通**

【戦略項目】	【評価指標数】	【平均値】	【レベル】	【コメント】
経営者	7	4.3	V	極めて良好な水準です
企業経営	7	4.4	V	極めて良好な水準です
管理体制	6	4.2	V	極めて良好な水準です
人事雇用管理	5	5.0	V	極めて良好な水準です
人材育成活用	5	4.4	V	極めて良好な水準です
【ヒト部門総合】	**30**	**4.5**	**V**	**極めて良好な水準です**

※平均値、レベル、コメントは自動的に表示されます　（Ⅰ:1.0～1.9、Ⅱ:2.0～2.7、Ⅲ:2.8～3.3、Ⅳ:3.4～4.0、Ⅴ:4.1～5.0）

「モノ・技術部門」　　**製造業**

【戦略項目】	【評価指標数】	【平均値】	【レベル】	【コメント】
商品・サービスの企画開発	10	4.6	V	極めて良好な水準です
立地・店舗・設備	0	4.0	Ⅳ	良好な水準です
マーケティング・営業力	7	4.1	V	極めて良好な水準です
物流・在庫	6	3.8	Ⅳ	良好な水準です
ものづくり	10	4.2	V	極めて良好な水準です
顧客・アフターサービス	7	4.2	V	極めて良好な水準です
IT	5	3.5	Ⅳ	良好な水準です
【モノ部門総合】	**45**	**4.1**	**Ⅳ**	**良好な水準です**

※平均値、レベル、コメントは自動的に表示されます　（Ⅰ:1.0～1.9、Ⅱ:2.0～2.7、Ⅲ:2.8～3.3、Ⅳ:3.4～4.0、Ⅴ:4.1～5.0）

「カネ部門」　　**全業種共通**

【実数分析】		「カネ」部門評価報告に記載			
【定量分析】	戦略項目	【評価指標数】	【レベル評点】	【分析評価】	【コメント】
	収益性	4	4	4	良好な水準です
	安全性	5	4		良好な水準です
	生産性	3	4		良好な水準です
	効率性	3	2		やや低い水準です
	成長性	3	5		極めて良好な水準です
	資金管理	4	3		標準的な水準です
	【合　計】	22			良好な水準です
【定性分析】	健全度　（問題あり・やや問題あり・普通・良好・優良）				良好です
	体力度　（不十分・やや不十分・普通・やや十分・十分）				十分です
【カネ部門総合】				**Ⅳ**	**良好な水準です**

※定量分析戦略項目のレベル評点、コメントおよび定性分析のコメントは、自動的に表示されます。